

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念の一つひとつの内容に関して職員全体で理解してもらうために、全体会議で個々がどのようなケアを実践しているか、事例を検討し理念に沿ったケアができているか確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町会に加入し、地域の様々な情報を回覧板や地域の方から入手し、参加させて頂いている。また、こちらからの情報も地域通信にて回覧してもらっている。運営推進会議でも地域で予定されている催し物等の情報提供をして頂いている。地域の方から季節の野菜を頂くこともある。	地域通信でどのような生活をしているのか写真が載っているのわかりやすい。コロナ禍で行事等が行えず、交流する機会を作ることが難しいが、落ち着いてくれればまた再開したい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響もあって、集まっての会議開催が難しい現状であるが、議事録などをお渡しして運営状況や利用者やサービス状況などを報告している。	コロナ禍の影響もあって、参加者の方々に集まっていたのが難しい現状でした。 議事録を作成してお渡しさせていただいて運営状況などお知らせするほか、その際にはご意見も頂いております。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	知りたいことがある場合は連絡し、適切なアドバイスや支援を頂いている。運営推進会議に出席して頂いた際に生活状態を説明したり、意見を頂いたりしている。	わからないことを尋ねたときも、市役所の方に確認を取って教えてくれるので助かっています。市町村と連絡を取り合い、よりよく生活してもらえたら助かります。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中、玄関は施錠しておらず、自由に出入りができるようになっている。身体拘束等適正化委員会、安全委員会を設置し、会議のときにチェック、ケアについて話しあう体制を作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関の施錠、センサーマット等だけでなく、スピーチロック、ドラッグロック等についてもしっかりと理解し実践に活かす試みをおこなっている
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待に関する研修参加した後は会議時に報告し、話し合っている。常に自分たちの行動や言葉がけに対して、虐待と思われる場面がないかどうか会議内で実際に例を挙げて意見交換し、どのような対応をすべきか話しあっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者視点、家族視点及び認知症ケアの視点からの虐待の意味を職員間で共有してみてください。職員側で出来ていると考えていても、視点の違いにより感じ方は変わってきます。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	後見人制度を利用している入居者のケアについて後見人と話し合う機会を設けている。また分からないことがあれば市の担当者に話を聞いている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に文章、口頭の両方で十分に説明を行うと同時に、利用者や家族等にも質問や不安はないか確認をしっかりと行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員及び管理者に相談して頂いている。相談内容に関しては早急に運営に繋がるよう努め、ホーム内で共有している。施設掲示板に苦情・要望受付先を掲示し言いにくい場合はそちらに連絡出来るようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でもあり、なかなかご家族との接点が少なくなっています。関係性だけに頼るのではなく、意見箱やアンケート等の活用もしてみるのもいいと思う
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の職員が意見を言いやすいような環境づくりに努め、内容を他の職員も交えて話し合った上で、代表者に報告し運営に反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表、管理者は常に職員の意見に耳に傾け、その意見を運営に反映させ、「花園の里に勤務して良かった」と感じられる職場作りに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な改善に取り組んでいるようです。職員からの提案による職場環境・条件の整備をおこなってみるのはどうでしょうか？
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に法人研修を開催し、外部の研修に参加した場合は情報も回覧し、積極的に参加した職員を評価、査定している。受講後には研修報告書を提出し、研修内容を全体会議で発表している。 *現在はコロナの感染状況をみて研修の企画や参加を判断している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者が実際の現場に入り、OJTによる指導をおこなっています。ただ全職員に伝えるには限界もあります。より効果的な指導方法を検討してみてください
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	技術向上を図ることが可能と思える多職種との交流会や研修にも積極的に取り組んでいる。法人内の他グループホームと交流会をし、情報交換をしている。 *現在はコロナの感染状況をみて参加を判断している。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴を把握するとともに不安や要望を傾聴し信頼関係を築けるよう努めている。また、本人とコミュニケーションを図り、表情や行動からも気持ちに寄り添えるよう努めている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が関わりを持っていた場所に出向いたり、友人に会いに出かけたり逆に会いに来て頂いたりできるよう支援している。 *現在はコロナ対策の為、面会は控えている。	コロナ禍で面会が制限されているため、家族の顔を忘れてしまうのではないかと不安がある。通信などでどう過ごしているかそれなりにわかるが、やはり、様子が気になります。電話で尋ねたときに様子を教えてくれるため助かります。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前の生活情報を踏まえながら、今の本人の思いや言葉、表情、行動から意思確認をするよう努めている。また、ケース記録やカンファレンスでどのように対応していくか話し合っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人との会話をケース記録に残すことで本人の思いやその人らしく暮らすためにはどのように関わっていけばいいかなどをスタッフと話し合い、ライフサポートプランを作成している。	何が好きかやどこに出かけていたのかなど家族の話も聞いていろいろ対応してくれている。決まった暮らしではなく、何をしたいか話を聞いて、楽しく生活を送ってもらえるよう今後も頑張っていって欲しい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目的、目標を具体化させている介護計画は大変分かりやすく実践しやすそうです。モニタリングもKPT法を用いて次に繋がりがやすく分かりやすいです
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、スタッフ、地域、周囲の言葉や表情、しぐさを記入し本人の思いやスタッフの考察を色分けして記入し、記録をスタッフ間で共有しながらライフサポートプランに反映させている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来事だけでなく、言葉、表情に着目し、ご本人の背景をさぐる記録は本人本位の記録としていいと思います。付箋を活用したモニタリングは有効なので定期的に行うことを期待します
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状態変化に応じてスタッフ間で話し合い、ケアの工夫をしている。必要なサービスがあれば連絡をとり、相談しながら対応してもらったりしている。	何か変化があれば、どのように対応していくか連絡がある。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集会場の利用や地域の避難訓練や文化祭などの行事に利用者の希望を確認しながら参加させてもらっている。近隣の保育所とも交流をもっている。馴染みの店に出掛けるようにしている。	これまで毎年開催してきた地域行事(花園フェスティバルや保育園行事など)が中止、制限などが続いており、参加が難しい状況であるのは残念に感じます。よく行っていたお店に連れて行ってもらうには嬉しい。		

				*現在はコロナ対策の為、開催されていない行事が多い			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望を聞き、納得して頂いたうえ協力医療機関の受診を支援している。また、症状に合わせて、専門医への受診を働きかけている。月に1度家族へ受診報告書を郵送している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は早期退院に向けて、病院側やご家族に説明し、介護サマリーにて情報提供している。 現在はコロナの感染対策もあって面会や病院関係者と直接での情報交換が難しい状況だが、電話や zoom などのオンライン環境を通して情報交換や相談を行うように努めている。		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種機関の特性・組織を理解した連携は有効かつスピーディーなやり方をおこなっています。また日頃からの通信の配布も日常からのよい関係作りになっていると思います
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を事前に聞き出し、その時々に応じて本人、家族、スタッフ、医師、看護師と話し合いをしながらチームで支援できるよう努めている。また定期的に本人や家族にターミナル期における意向を確認している。不安なくターミナル期を迎えられるよう支援している。		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の希望だけでなく、ご本人のお元気な頃からの想いを大切に終末期ケアを実践される職員の皆さんの意識が高いことが素晴らしいです。 今後も続けていけることを期待します
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は救命講習を定期的に受講し、緊急時の対応を学習している。緊急時の対応についてマニュアル作成してある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防職員立会いのもと、年2回避難訓練を実施し、地域の方にも参加して頂いている。近隣の保育所とも合同で避難訓練を行っている。 *現在はコロナ対策の為、参加して頂いていない。	コロナウイルスの影響もあり、地域の方や保育所の方と合同で行うのが難しい部分もあるかと思いますが、普段から協力していればいざという時にも安心して対応ができると思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で十分な実践訓練が出来ていないそうなので、実践の訓練が再開したら、また課題が出てくると思いますので、対策を講じてください

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域通信や外部向けの配布物は本人や家族に同意を得て写真を掲載している。また、一人ひとりに応じた対応にも配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間の申し送り等の会話にもう少し配慮が必要かと思われます。職員の動きやすさ、働きやすさとプライバシーの確保の両立は難しいと思いますが、常に職員の意識を高めて下さい
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて勤務時間の変更や勤務人数を調節し、利用者の希望に沿うように努めている。入浴時間や外出等に関してもできるだけ希望に添えるよう努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物へ一緒に出掛け、食べたいものを購入し、ともに食事を作り、時には外食や出前等自分の好きなメニューを選んで頂いている。畑でとれた旬の食材を取り入れ、行事に応じたメニューを取り入れている。日頃の会話等から好みに食事を探っている。 ※コロナ対策をしながら外食支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最期まで美味しく且つたのしく食べる支援を考えながら実践されています。ご本人の生活歴を活用した食事支援も今後期待します。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の体重測定で、体重の増減を管理している。食事、食事・水分が不足気味の利用者に対しては、個々の状態にあった方法で提供すると同時にチェックリストで摂取量を記載し、情報を共有できるようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝前に声掛けや見守りを行っている。自力でできない方に関しては職員が口腔内の確認している。入れ歯の管理、手入れができない人に関しては職員がケアをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夕食後の口腔ケアはしっかりと行われています。特に起床時は口腔内の乾燥、汚れがありますので、あらためてその重要性も職員の皆さんで共有ケアにつなげて下さい
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレ誘導が必要な方には排泄の間隔やサインを把握してプライバシーにも配慮しながらさりげなく声掛けし誘導している。その人に合ったオムツ等を使用しているか、スタッフ同士で適宜話し合っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の排泄ケアにおいて、睡眠重視、清潔重視等の議論はあります。一番はご本人を中心とした考え方のもと、職員の皆さんが、しっかりとした理解、納得した支援をおこなう事が大切になりますので、しっかりと話し合いをお願いします

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に応じて、菖蒲湯や柚子湯などお風呂を楽しめるようにしている。希望されている方にはいつでも入ってもらえるよう支援している。入浴を拒む人に対して、言葉かけや時間をずらす等の工夫を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室の温度や寝具などで調節し安眠できるようにしている。体調の変化を把握し休息が必要な時は声を掛けて休んで頂いている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居宅療養管理指導を取り入れ、服薬に関する疑問あった際には薬剤師、医師に相談し、確認を取っている。一人ひとりに合った薬の形態や内服時間を検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師、主治医とも連携して服薬内容、方法等を検討されています。全ての職員が薬への意識が高くなることを期待します
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	やりがいを持てるように個々の得意とすることや、好きなことを生かした生活が送れるよう支援している。また、意欲がない方に対しても気持ちを尊重するよう努めている。家族からの情報や思いも参考にしている。	利用者の皆さんがこれまでしてこられた得意な事や好きな事が、この先も続けていけるよう支援していただければと思います。家の中で過ごすだけでなく、いろんなところに出掛けたり、美味しい物を食べたりして元気に過ごせるよう今後もお願いしたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勤務内容や人数の調節を行うことで、買い物以外に普段いけないような場所にも出掛けられるよう努めている。日常の関わりから行きたいと思っているところを傾聴している。 *コロナ対策として混んでいない時間帯、場所にマスク着用で出かけている。	いつも行っていたお店に連れて行って来てうれしい。コロナウイルスの感染対策などで、外出等にも注意を払われているのだとわかりました。 これから少しずつ感染対策なども緩和されていくとは思いますが、引き続き利用者の方の安全などに気を遣いつつ、外出などしていただければと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に応じてお金を持っていたい利用者には持って頂いている。買い物での代金の支払いを利用者にお任せしたり、こちらで支援したりしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誰に電話を掛けたいかを把握し、相手方の可能な時間帯などを確認し電話で話してもらっている。手紙でも相手方に説明し理解を頂き、やり取りを支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方々に快適に過ごしていただける様、意見を聞きながらその都度環境に注意している。居室には家族の写真や好きなものを飾るなど個々の好みにあった居室になるよう工夫している。畑には花を植えたりしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	9人すべての方が居心地がよいというのは難しいと思います、その中ではかなり苦労されながら空間作りをされていました。ポットや湯飲み茶わんはもう少し、皆さんが使いやすい工夫があってもよいかと感じました
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在の他職種での連携のネットワークを継続し、さらに連携・協力体制を整えていけるようにして下さい
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの物や大切なものを身近に感じられる生活が続けられるよう、職員間で情報共有しながら支援して下さい
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間でのアイデアを活かしながら利用者さんとの楽しい時間を増やすことに期待します
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状に満足せずに、今後も職員間の情報共有や社会資源を活用しながら、ご本人が GH で安心・楽しんで生活できるよう努めて下さい